

日衛連NEWS

Japan
Hygiene Products
Industry Association

発行／(一社)日本衛生材料工業連合会

特集 第四回『日中衛生用品企業交流会』東京にて開催

2016年の中国・廈門市での開催に続いて第四回目となる日本と中国の衛生用品企業が集まる業界団体の交流会議が、11月1日、東京で開催されました。日中両国の企業代表者・中国の行政関係者、合わせて240人の出席により盛大に開催されました。



目次

● 日中交流会について ● 参加者 ● 今年のテーマ

● 第四回『日中衛生用品企業交流会』両団体の代表挨拶

- (一社)日本衛生材料工業連合会副会長、全国紙製衛生材料工業会会長 古山陽子氏
- 中国造紙協会生活用紙専門委員会副会長 吳躍氏

● 両国の主要参加者紹介

- (一社)日本衛生材料工業連合会 常任理事/同 広報委員長・技術委員長 天田泰正氏
- 中国造紙協会生活用紙専門委員会 副会長 林斌氏

● 講演

- 日本の衛生用品市場について:(一社)日本衛生材料工業連合会 専務理事 高橋紳哉氏
- 中国の衛生用品市場について:中国造紙協会生活用紙専門委員会 秘書長 張玉蘭氏
- 日本の衛生用品の品質について:
(一社)日本衛生材料工業連合会 技術委員会 技術委員 水口克氏 /
カトーテック株式会社 営業部 黄楚氏
- 日本における使い捨て衛生用品の環境対応とリサイクル技術:
(一社)日本衛生材料工業連合会 技術委員会副委員長 宮澤清氏
- 中国の使い捨て衛生製品の国家標準について:全国造紙工業標準化技術委員会 委員 張清文氏

● 質疑応答

● 懇親パーティ

● 講演会・交流会のまとめ

● 工場視察

日中交流会について

日中衛生用品企業交流会は、(一社)日本衛生材料工業連合会と中国の紙おむつ、生理用品などの企業が会員となっている業界団体である中国造紙協会生活用紙専門委員会が2年に一度、日本と中国で交互に両国の技術・品質などを中心に市場や消費者視点も加えた見地で情報交換をする交流会議です。対象分野は、紙おむつ、生理処理用品など衛生用品の分野です。

2011年に第一回を上海で、2014年に第二回を東京で、2016年に第三回を中国・厦門で開催しました。

参加者

日本の参加者は、132名(業界紙記者18名を含む)

中国の参加者は、中国造紙協会生活用紙専門委員会会員を中心とした中国衛生用品起業家代表団 合計104名

今年のテーマ

世界経済を牽引するす両国にふさわしく、時代を踏まえて「品質・安全・環境」を今年の交流会のテーマとしました。



第四回『日中衛生用品企業交流会』両団体の代表挨拶

■ (一社)日本衛生材料工業連合会副会長 全国紙製衛生材料工業会会長 古山陽子氏 挨拶

開会にあたり日本からは古山氏が、今回の会議のテーマにある環境について、持続可能性のための取組として「持続可能な開発目標(SDGs)」の17目標の中には私どもの業界と密接に関連する課題も多くあることから、日中両国企業の協働による取組を通じて、持続可能な環境づくりを加速させることができれば、日中両国が世界をリードして未来の世代に残すべき社会を築いていけるのではないかと。製品の品質や安全性に加えて、未来に向けた取り組みが同志でありよき競合である両国企業の更なる切磋琢磨の場となり、業界発展はもちろんのこと世界課題の解決への一助となれば嬉しいと、期待を込めて話されました。



(一社)日本衛生材料工業連合会 副会長 古山陽子氏

■ 中国造紙協会生活用紙専門委員会副会長 吳躍氏 挨拶

続いて中国からは吳氏が以下のように挨拶されました。

中国と日本の消費習慣には共通性、また中国の衛生用品市場には巨大な発展潜在力があり、これも中日企業にもっと大きな協力領域を提供しています。中日衛生用品分野ではウインウインの発展を推進し、お互いに恩恵を享受し、利益をもたらし合うことを進めましょう。

近年、中国は「新しい消費スタイル」や「新しい小売チャネル」等が急速に浸透し、消費市場にも巨大な変革が起こっています。この変革は小売業界に影響を及ぼすだけでなく、製品の開発にも影響を及ぼして、サプライヤーにも新しいチャレンジとチャンスを生んでいます。

今後も両国業界の持続的な発展に助力し、消費者にもっと多く、もっと品質が優れた製品を提供していくことを希望します。



中国造紙協会生活用紙専門委員会副会長 吳躍氏

両国の主要参加者紹介

日本の主要参加者の紹介 天田泰正氏

14名の主要参加者を紹介



中国の主要参加者の紹介 林斌氏

30名の主要参加者を紹介

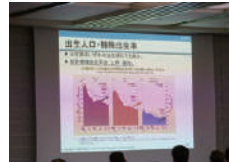


第四回『日中衛生用品企業交流会』講演の概要

1. 日本の衛生用品市場について:

(一社)日本衛生材料工業連合会 専務理事 高橋紳哉氏

少子高齢化の進む日本における衛生用品市場について、日本衛生材料工業連合会の自主基準、最近の国際標準化への取組などを紹介されました。



高橋紳哉氏

2. 中国の衛生用品市場について:

中国造紙協会生活用紙専門委員会 秘書長 張玉蘭氏

中国の衛生用品市場の動向について、業界の概要、輸入と輸出の状況、製品の革新、市場特性、2018年業界の発展状況、発展傾向という視点から報告されました。



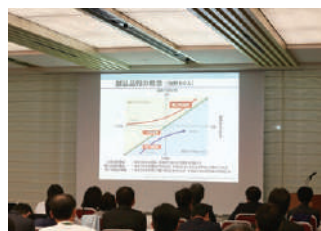
張玉蘭氏

3. 日本の衛生用品の品質について:

(一社)日本衛生材料工業連合会 技術委員会 技術委員 水口克氏
カトーテック株式会社 営業部 黄楚氏

初めに「品質の考え方と実際」について、水口氏より製造品質と設計品質に分けて概要が報告されました。

続いて、設計品質の中でも機能的付加価値について、感触評価の数値化と試験機による測定などをカトーテック株式会社 黄氏が紹介されました。



水口克氏



黄楚氏

4. 日本における使い捨て衛生用品の環境対応とリサイクル技術:

(一社)日本衛生材料工業連合会 技術委員会副委員長 宮澤清氏

衛生用品の環境負荷要因、具体的な課題とその対応状況、今後の取組の方向性について報告されました。



宮澤清氏

5. 中国の使い捨て衛生製品の国家標準について： 全国造紙工業標準化技術委員会 委員 張清文氏

中国の使い捨て衛生用品の標準体系について、具体的なGB／GBTに関する取組を踏まえて報告されました。



張清文氏

第四回『日中衛生用品企業交流会』質疑応答

日本側からは、標準化や認証について、中国側からは、製品や原材料の品質、原材料の環境認証、ゼロエミッション、抗菌/除菌などについて積極的な質問があり、活発な質疑応答がなされました。



懇親パーティ

1. (一社)日本衛生材料工業連合会 会長 高原豪久氏 挨拶



(一社)日本衛生材料工業連合会 会長 高原豪久氏

初めに、九州、四国、東京、東北と、タイトな日程で訪問されている中国の皆様へ感謝され、交流会議で積極的に質問される姿勢に感銘のこたばを述べられました。

両国が高齢化社会に向かっている中で、将来のために今回のテーマのひとつである環境について、循環型モデルを作っていくことが、ESGの観点からも両国のこの業界に求められる役割であり、品質や標準化も含めて活発に話合われたことに、今後への更なる期待を述べられました。

2. 中国造紙協会生活用紙専門委員会 会長 曹振雷氏 挨拶

初めに、今回の100人を超える訪問に対して、魅力のある工場見学を含めて準備いただいたことに、感謝のこたばを述べられ、以下のように挨拶されました。

両国に文化、精神など共通する点が多い中で、衛生用品事業では日本が進んでいるところが多く、もっと学び、お互いの向上していくことを希望します。中国ではここ2年ほどの間に、インターネットショッピングなどが急速に発展し、新しい企業の躍進が目立ち、市場に大きな変化を起こしています。

次回5回目の交流会は、是非中国開催にさせていただき、日衛連に負けないように頑張りたいと思います。



中国造紙協会生活用紙専門委員会 会長 曹振雷氏

3. 記念品交換

両国より心のコもった記念品の交換がおこなわれました。



4. (一社)日本衛生材料工業連合会

理事/全国紙製衛生材料工業会 副会長 石橋範之氏 による乾杯



5. (一社)日本衛生材料工業連合会

常任理事/全国紙製衛生材料工業会 副会長 田中悟氏/
中国造紙協会生活用紙専門委員会 常任委員 焦勇氏 による中締め



工場見学

第四回日中衛生用品企業交流会交流会に前後して、中国衛生用品起業家代表団一行による下記工場見学が実施されました。

1. 10月30日 トータルケア・システム株式会社
(福岡県大牟田市)
2. 10月31日 ユニ・チャーム株式会社テクニカルセンター/
四国工場(香川県観音寺市)
3. 11月2日 花王株式会社酒田工場(山形県酒田市)

